

●●●●●●●●●● 碑文谷公園に適した品種 ●●●●●●●●●●

隣の樹木との間隔、道路等への越境の可能性、植樹の大きさ等を踏まえると、碑文谷公園には中型や小型の桜が適している場所が多いです。今ある桜との調和や品種の多様性を踏まえ、中型～小型の品種から選んでいきます。下表の桜が碑文谷公園に適した品種の一例です。

花期 サイズ	3月上旬	3月中旬	3月下旬	4月上旬	4月中旬	4月下旬
大型		【ヨシノヒガナ】 【イトヒガナ】	【シダレザクラ】	【マヒメ】 【シダレイナボノ】 【ソメイヨシノ】		【カンザン】 ギョイコウ
中型	【カウザザクラ】				【オモイカワ】 【アマノカワ】 【センダインダレ】	
小型			タカサゴ 【オカメ】			

-重線:一重 二重線:半八重・八重・菊咲き 斜字:枝垂れ 【 】:特に強いと思われる品種

花色: 紫紅 濃紅 淡紅 白 黄緑

*温暖化の影響により都市部では上記表より10日以上開花が早まっている

桜の画像提供:公益財団法人日本花の会 ※画像の著作権は公益財団法人日本花の会に帰属します。無断転載を禁止します。



さくらもり

●●●●●●●●●● 桜守活動について ●●●●●●●●●●

桜守活動とは、地域の方が日常的に桜を見守り、保全していくボランティア活動のことです。碑文谷公園の桜を保全していくためには、地域の皆様の参加が大きな力になります。地域の皆様とともに、碑文谷公園の桜の景観を将来に伝えていきます。

<桜守活動の例>

- ◆ 桜の継続的な観察…開花状況の記録や枯枝、病気等の異常の発見を行う
- ◆ 施肥や水やり……季節ごとに肥料を施す、土壌の乾燥を防ぐ
- ◆ 花芽観察………花芽の数を観察し桜の健康状態を把握する
- ◆ 清掃活動………開花時や落葉時の清掃を行う、落ち葉堆肥を作る など



花芽観察

●●●●●●●●●● 目黒のサクラ保全事業の流れ ●●●●●●●●●●

1

樹木診断

樹木医による診断を行い、個々の桜の状態を把握します。倒木の危険のある桜については先行して伐採を行い、安全確保を図ります。

2

サクラ再生実行計画の作成

桜の保護、植替えについて地域の皆様と検討を行い、地域に合ったサクラ再生実行計画を作成します。

3

保全・更新

サクラ再生実行計画に基づき、桜の伐採や抜根、植替えを行います。また、弱っている桜を保護します。

目黒のサクラ基金にご協力をお願いします

サクラ基金は、ふるさと目黒の桜のある風景を後世につたえるための基金です。公園等の桜の保護・植替えなどに活用しています。詳しくは下記の日黒区ホームページをご覧ください。だくか、みどり土木政策課までお問い合わせください。

URL: <https://www.city.meguro.tokyo.jp/gyosei/zaisei/kifu/kikin/sakurakikin.html>



ふるさとチョイス



ふるさとパレット

お問い合わせ先

目黒区都市整備部みどり土木政策課

電話:03-5722-9745 FAX:03-3792-2112

メール: midoridoboku04@city.meguro.tokyo.jp



ふるさと目黒の
桜を後世に伝える

碑文谷公園 サクラ再生 実行計画

令和5年3月
目黒区



目黒のサクラ
再生実行計画HP

池に映える桜の風情、多品種の桜、春の高揚感を再生します

碑文谷公園のサクラ再生の方針

- 保 保全タイプ**
剪定等の標準的な維持管理に加え、適宜、生育環境改善を行い、今ある桜が健全に生育できる環境を整備・維持します。
- 再 再生タイプ**
今ある桜を保全しつつ、健全化困難な桜の段階的な世代交代や、適正間隔での植替えを行い、桜の景観を再生します。
- 充 充実タイプ**
今ある桜を保全しつつ、日照の確保や隣地への越境に注意しながら補植を行い、見ごたえのある桜景観に充実します。

碑文谷公園全体のサクラ再生の手法

以下の環境改善と管理の方法で桜の景観を再生します

- 保全**・今ある桜は保全、健全化困難な桜は植替え
・若いソメイヨシノは生育適地へ移植
- 植替**・空間サイズにあった中・小型品種で植替え
・適切な植栽間隔を確保
- 土壌**・エアレーションなどを行い土壌の通気性を高め根の再生を促進
・肥料を与え、新たな枝葉の萌芽・再生を促進
- 日照**・隣の樹木を剪定し日当たりを改善・維持
- 管理**・通行を妨げる枝は細いうちにこまめに切除
・木を腐らせるキノコを監視、健康状態を把握

再 ① 外周部駐車場前エリア

道路側では太い枝の剪定による枯下りが生じています。
公園利用者の往来により根元の土が踏み固められています。

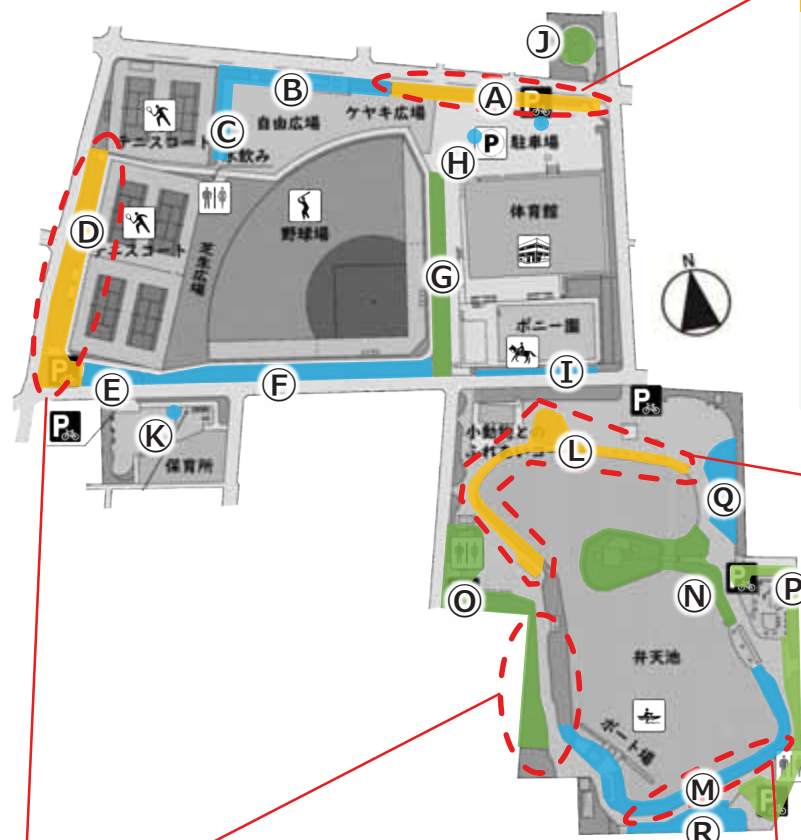
高齢の桜を永らえつつ若木へ世代交代します

- ・段階的に桜を世代交代します。
- ・植栽位置を公園内部に寄せることで、道路への越境を防止します。
- ・公園利用との両立を図りつつ根元を保護します。



将来像

碑文谷公園全体マップ



再 ② 外周部駐車場前エリア

狭い植栽帯に高密度で桜が植わっており、養水分が不足しています。
木を腐らせるキノコが発生し枯死している桜があります。

枯死等で欠けた桜並木を復活します

- ・狭い植栽帯でも健全に生育できるよう、エアレーションや施肥を行います。
- ・道路への越境防止や、根が広がる広さを考慮し、植替えの際には中・小型品種を採用します。

再 ③ 池周囲(植栽なし)エリア

公園利用者の往来により根元の土が踏み固められています。
公園の修繕工事による根の切断の影響もあります。

水面に映える悠々とした桜の景観を復活します

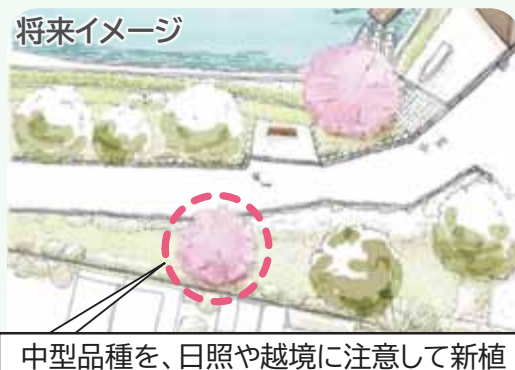
- ・公園利用との両立を図りつつ根元を保護します。
- ・エアレーションにより根元の踏み固めで弱った根を再生します。



将来像

充 ④ 西側外周エリア

日照や枝の越境に注意しつつ桜を増やします

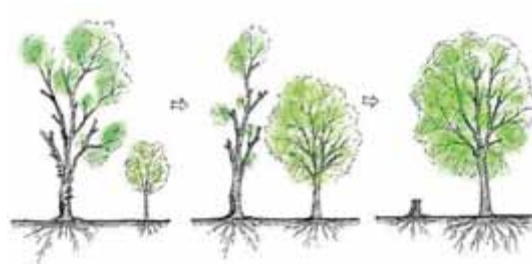


将来イメージ

中型品種を、日照や越境に注意して新植

世代交代

後継の桜を植えて、ある時点で置き換える



主なエリアの将来像とサクラ再生の手法

現状



将来イメージ



草花による立入抑制



桜の根元を保護するためにアガパンサス、ツワブキ、キキョウ、リュウノヒゲなどの多年草で根元を囲む方法を提案します。
根元への立ち入りの抑制効果は強くありませんが、草花にミミズ等が住み着くことで土壌が健全に保たれる点、花が咲くことで景観が良くなる点、比較的ローメンテナンスで維持可能な点が適しています。可動柵による保護などと、状況に応じた使い分けが必要です。

保 ⑤ 池周囲(植栽地内)エリア

日当たりを好む桜にとっては日照が不足しています。
一部土が固くなっている場所があります。

環境を改善し今ある桜と他の樹木との共存を目指します

- ・近くの樹木を剪定し、日当たりを改善・維持します。
- ・日当たりが改善したら、エアレーションや施肥を行います。



現状

エアレーション
圧縮空気により穴をあけ土壌をほぐす方法

